

補強塗り処理 (0.2mm未満の場合)

ひび割れ部分に沿って、幅100～300mm程度で防水材にて補強塗りを行う。

漏水の発生しているひび割れは、必ず止水処理を行ってから防水材の塗布を行う。

注記：処理方法を重点的に表現するため、縮尺は統一して描かれてはおりません

